



CTガイド下3次元穿刺デバイスの開発

田中 利洋

Toshihiro Tanaka

放射線診断・IVR学／教授

臨床

■キーワード 画像ガイド下治療、針穿刺、CT、IVR

シーズ概要

CTのボリュームデータを利用して、3次的に角度を決定し、体表から体内の標的に針を穿刺するデバイスを開発した。

本デバイスは角度測定機能およびCTの基準面とのキャリブレーション機能を備えており、CTデータから得られた穿刺点とターゲットを結ぶ穿刺ラインの角度を入力するとその方向がモニターに表示される。



研究成果の応用可能性

ファントム実験、探索的臨床研究を経て、製品化を目指す。

Appeal Point

アピールポイント

手技の時間短縮とX線被曝低減が達成でき、かつ安全な経皮的な針穿刺が可能となる。

関連文献／特許

1. 特許第7178648号
出願国：日本
発明者：田中利洋 他、
『穿刺針保持器、穿刺針姿勢設定システム、穿刺針姿勢設定システムの使用方法』